

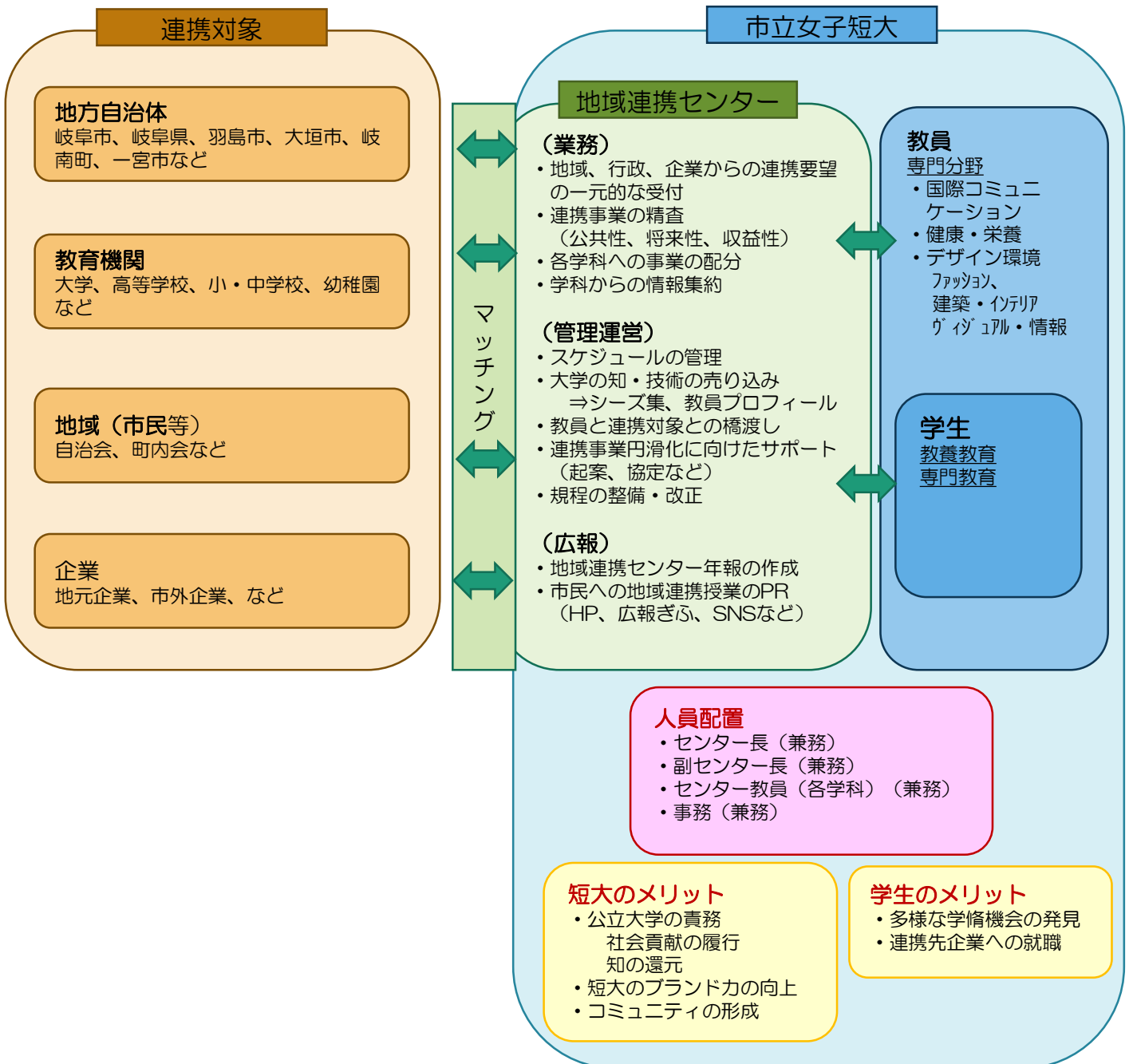
## 方針

本学に設置する地域連携センターは、岐阜市を中心に周辺地域の誰に対しても開かれ、あらゆる年代に対して、豊かな人生を切り拓き幸福な生涯を実現するための学びの機会を提供し、市民社会の知的発展に貢献する。

## 方針を実現させるための視点

1. 公益性、公共性の重視
2. 研究資源の社会活用
3. 地域連携活動と研究活動との循環
4. 女性活躍社会に向けた経験に基づく深い学び
5. 女性を中心とする生涯学習の支援

## 地域連携センターイメージ



## 地域との関わり方

| 視点    |             | 現行  | 今後の展開  |   |
|-------|-------------|---|--|---|
|       |             |   | 令和4年度より実施  | 令和5年度以降に実施  |
| 1,2   | 社会への包括的支援   | 公開講座(2件)<br>出前講座(0件)<br>出張講座(1件)等<br>(コロナ禍で減)   | 公開講座の開講内容を精査し、公開講座の開講数を増やす(目標:10件以上)   | 外部講師による講演会も主催する   |
| 1,3   | 知のつながりの強化   | <ul style="list-style-type: none"> <li>他大学連携授業(岐阜薬科大学・岐阜大学など)</li> <li>高大連携事業(市立岐阜商業高等学校)</li> </ul>                        | 岐阜市域の他大学との連携を増やす   | 岐阜市域の高等学校に対する出前講座を複数新設し、岐女短で学ぶ目的を知ってもらう(本学での学びがより適した志願者の確保にもつなげる)   |
| 1,2,3 | 産官学連携       | <ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜市役所新庁舎授乳室の壁画制作</li> <li>岐阜市保健所地域保健課との連携事業</li> <li>アクティブG「健康メニューフェア」他7件</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>外部からの依頼に積極的に対応する</li> <li>アンケート調査により、産官の要望を取り纏める</li> </ul> | アンケート調査による産官の要望を重要なものから順次実施する   |
| 4     | 分野横断型授業の提供  | 教養教育科目「課題創造演習」  | 学科の枠組みを超えた科目である「課題創造演習」の内容の充実について検討する  | 「卒業研究」を「地域実践演習Ⅰ・Ⅱ」とし、地域と結びつけた教育を深める   |
| 5     | 女性の活躍(別紙参照) |   | 本学の歴史ある女子教育を活かし、女性が学べる場を提供し、社会復帰を目指す女性をサポートする  |   |
|       | その他         |   |  | <p>&lt;本センター発展によって&gt;<br/>岐阜市のシンクタンク機能の一部を担う教職員文化を醸成する。<br/>(具体的には、教員の専門的知見を活用し、岐阜市の取り組みや政策立案面での貢献度を向上させることを目指す)</p> |

## 継続的な運営のため

### 仕組みづくり

特定の教員のみ活動にならないようにする仕組み

外部からの依頼に加え、教員自ら企画し外部に向けて働きかける仕組み

### 教員評価

執行部が中心となり、地域貢献への取り組みについても人事考課、昇任人事などの評価に取り入れる

### 活動予算

地域連携センターの円滑な活動に向けて資金を確保する。資金面での教員の負担軽減に配慮する

## 女性教育プログラム案

### 趣旨

本学の女性教育拠点化の取り組みとして、女性教育プログラムを立ち上げる。これは本学卒業生を含め、広く地域の女性を対象に学び直しを提供するとともに、再就職や社会復帰などに資するための教育プログラムである。なお、本プログラムでは、女性の活躍を中心的目的に据えるが、同時に、性別を問わず受講者を受け入れ、共に学びながら互いに交流を深められる場としても開かれている。

現時点での女性教育プログラム案は、以下の通りである。

#### 1. 【検定試験・資格試験対策講座】(担当者敬称略)

- ・〈新設〉初心者のための TOEIC 対策講座 (90 分×2 回) : 大澤、鈴木
- ・〈既設〉中国語検定対策講座 : 王  
(準 4 級コース : 90 分×4 回、4 級・3 級コース : 90 分×4 回) 10 月中旬開始
- ・〈既設〉管理栄養士国家試験受験対策講座 (複数回) : 食物栄養学科教員
- ・〈新設〉リテールマーケティング (販売士) 検定試験受験対策講座  
(2 級・3 級コース : 90 分×3 回 : 柴田、1 級コース : 90 分×3 回 : 中谷  
+

#### 2 【女性の心身の健康・生き方支援講座】(担当者敬称略)

- ・〈新設〉女性のメンタルヘルスー非定型うつ病・拒食症ー (全 1 回) : 高橋
- ・〈新設〉ママ目線の健康メニュー開発講座 (全 1 回) : 長屋
- ・〈新設〉(仮題) 土壁講座 (全 1 回) : 畑中  
※女性の職業選択の可能性を拡げる
- ・〈新設〉(仮題) 自分らしく生きるための日本文学講座 : 村中  
※男女共同参画連携講座との共同開催も視野に入れる  
+

#### 3 【履修証明プログラム】

- ・〈既設〉国際文化学科 初級中国語プログラム
- ・〈既設〉食物栄養学科 食品と栄養プログラム
- ・〈既設〉生活デザイン学科 CG・Web 基礎プログラム (資格取得支援)

次に、1、2、3の講座設置の詳細を以下に示す。

1. 【検定試験・資格試験対策講座】

社会における女性の活躍や再就職等に直結するものとして設置する。このうち、『初心者のためのTOEIC対策講座(90分×2回)』および『中国語検定対策講座』は、本学在學生に交じって共に受講してもらう形式である。

2. 【女性の心身の健康・生き方支援講座】

検定試験合格および資格取得を目指すための基盤として、まず心身の健康および前向きに生きる気力が必要である。そのため、心身の両面から女性をサポートする講座である。

3. 【履修証明プログラム】

既設のプログラムに組み入れ、本学在學生と共に学びながら、1と独立した形の講座、あるいは1に連結する講座として位置づける。

- ・国際文化学科では、『初級中国語プログラム』を修了した受講者などが、さらに検定試験合格を目指す際の受け皿として、1の『中国語検定対策講座(準4級コース、全4回)』で学べるしくみを作った。さらに『中級中国語プログラム』を新設し、『中国語検定対策講座(4級・3級コース、全4回)』につなげる方向で進めている。
- ・食物栄養学科では、『食品と栄養プログラム』の受講を通じ、食と健康への学び直しの機会を提供することで、さらに専門性を高めつつ資格取得を目指す受講生が、1の『管理栄養士国家試験受験対策講座(複数回)』で学べるしくみを作った。
- ・生活デザイン学科の『CG・Web基礎プログラム(資格取得支援)』は、1とは独立した、女性の資格取得支援を目的としたプログラムである。

以上、1、2、3は、女性の活躍を、その根本である心身の健康や生きがいの面からサポートし、検定試験合格や資格取得へと導き、そこから社会復帰につながるまでの各段階を援助することを視野に入れた教育プログラムである。